



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：金 允泰
(代理)

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 金 允泰

Li-Fraumeni 症候群の方を対象とした早期大腸癌に関する

研究

1.研究の対象

TP53 と呼ばれる遺伝子の変化を生まれつき持っており、2008 年 1 月から 2022 年 12 月までに当院で早期大腸癌に対して内視鏡的治療を受けられた方。

2.研究の目的・方法

現在 Li-Fraumeni 症候群における大腸癌の疾患を発見する事を目的に行うスクリーニングに関して、本邦では、25 歳から 2-5 年毎の大腸内視鏡検査を提案していますが、スクリーニングに関するデータは限られています。また諸外国でもスクリーニング方法にばらつきがあり、推奨の根拠となるデータも乏しい状況にあります。今回、当院において Li-Fraumeni 症候群を背景として内視鏡的治療を行った早期大腸癌の特徴を検討することで、大腸癌の適切なスクリーニング方法を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023 年 12 月 31 日までの予定です。該当データの利用開始は、2023 年 9 月 29 日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 性別、年齢、TP53 の病的バリエーションの種類、病歴、大腸内視鏡時の大腸腫瘍の有無およびその詳細、カルテ番号 等